

## 横山トンネル工事開始

～関係者ら工事の安全を祈願～

11月13日(木)、国道417号・東横山(鶴見地内(藤橋))の横山トンネル(仮称)建設地で安全祈願祭が行われ関係者ら50人が出席し、工事の無事を祈りました。

今回のトンネル建設が行われる区間は、落石や雨量規制による通行止めが多く、また、カーブも連続しているため大型車両のすれ違いが困難でした。それらの解消を目的としたトンネル工事は、トンネル延長が531メートル(橋梁を含めた区間の総延長は1300メートル)で、完成すると現在の国道より800メートル短縮されるためアクセスの向上が期待されます。

祈願祭では、熊谷研一揖斐土木所長や宗宮町長が苜初の儀を行いました。工事は平成29年3月までに完成する予定です。



▲苜初の儀(手前 宗宮町長 奥 熊谷所長)

## 揖斐高ショップ開店

～いび茶んクッキー人気～

11月15日(土)、揖斐高校の普通科ビジネスコースの三年生が運営する揖斐高ショップがJAいびがわフェスタの会場(美濃茶流通センター)で開店しました。

この揖斐高ショップは、揖斐高起業家育成プロジェクトの一貫で毎年開かれており、生徒らのコミュニケーション能力の向上やマーケティング調査などを目的にしています。

一日限りの揖斐高ショップでは、生徒がパッケージを考案したうんやくやん(こんにやく)やいび茶んクッキーなど、自らが生産や仕入れをした商品のほか、生活環境課の生徒が作った手芸商品なども売られ来場者の注目を集めていました。

「接客はとても難しい」と声を漏らしていた代表の廣瀬さんでしたが工夫を凝らした商品に人気が集まり、買い求める人で賑わっていました。



▲商品手渡す生徒

## 紅葉の名所でもみじまつり

～谷汲山華厳寺・両界山横蔵寺～

紅葉の名所として知られる谷汲山華厳寺(町営駐車場)と両界山横蔵寺でもみじまつりが行われました。

11月9日(日)、いびがわマラソンと同日に開催された谷汲もみじまつりは、小雨となりましたが、多彩なステージイベントなどが行われ、多くの人で賑わいました。

11月16日(日)に開催された横蔵寺もみじまつりは、真っ赤に染まった紅葉が、来場者を迎え、三味線演奏などで会場を盛り上げました。

また、横蔵寺では、11月1日(土)～30日(日)の期間でライトアップが行われ、連日、多くの見物客が訪れ鮮やかに浮かび上がった紅葉を楽しんでいました。



▲古刹に紅に染まったもみじ(横蔵寺)

## 赤い電車まつり

～ひっぱれば赤い電車～

11月16日(日)、旧名鉄谷汲駅周辺で赤い電車をモチーフにした「赤い電車まつり」が行われ、約2500人の来場者で賑わいました。

かつて谷汲を駆けた「赤い電車」名鉄谷汲線は2001年に廃線となりましたが、2002年に市民グループでつくる「赤い電車友の会」が中心に働きかけ旧名鉄谷汲駅で保存展示しています。

メインイベントの「ひっぱれば赤い電車」では、子どもからお年寄りまでが、電車に付けた綱を力を合わせてひっぱり、約80メートルを往復しました。

電車が動き出すと、会場からは拍手と歓声が沸き起こり、盛り上がりを見せました。

また、会場では、ライブ演奏やバザーなどが行われ来場者を楽しませました。



▲鉄道ファンや親子連れで賑わう会場





▲お米を渡す児童

11月20日(木)、清水小学校の5年生19人が、養護老人ホーム揖斐川尚和園を訪れ、児童らが「アイガモ農法」で育てたお米(120キログラム)を寄贈しました。

清水小学校では、5年生の児童が総合的な学習の時間に、近隣農家やJAの協力を得て田植えから収穫、脱穀までの体験学習を毎年行っています。

児童らは、イラストで脱穀までの体験話や、アイガモ農法について紹介しました。

「農薬を使わないアイガモ農法で育てたお米なので安心して食べてください」と入居者に手渡しました。

**アイガモ農法で育てたお米を寄贈**  
 清水小学校5年生



▲ウォーキングを楽しむ参加者

11月23日(日)、秋の城台山公園と揖斐川の町並みウォーキングが行われ約250人が参加しました。

この催しは、町の自然や歴史スポット、町並みを巡り、揖斐川町の魅力を再発見してもらうことを目的として行われています。

スタート・ゴール会場は、揖斐川町役場で、参加者は、リュックやウォーキングウェアに身を包み全長約7km、所要時間2時間半のコースを楽しみました。この日は、爽やかな秋晴れで、参加者は深まった紅葉の景色を眺めながら、コースポイントの揖斐川歴史民俗資料館や三輪神社などを見学しました。

また、コース上には、染物体験や豚汁、甘酒のサービスがあり、参加者は秋の揖斐川町を満喫していました。

**秋の城台山公園と揖斐川の町並みウォーキング**



▲スクリーニング検査の様子

11月30日(日)、岐阜県主催の原子力防災訓練が、坂内地域住民を対象に行われました。

この防災訓練は、原子力災害時における防災体制の確認や関係機関の連携体制の強化を図る目的で実施されたもので、今回が3回目。岐阜県内では、地域住民や岐阜県職員、町職員など総勢1400人が訓練に参加しました。

美浜原発(福井県)での事故を想定したこの訓練では、災害本部(県庁)との連携や安定ヨウ素剤の模擬配布、避難場所の中央公民館ではスクリーニング検査(身体表面汚染検査)や簡易除染が実施されました。

**原子力防災訓練**  
 原子力災害に備えを



▲民踊 隠岐しげさ節

12月2日(火)、高齢者の生涯学習学級「ことぶき大学」の発表会「ことぶきまつり」が揖斐川町中央公民館で行われました。

ことぶき大学で日ごろ、学習したり研修していることを発表することぶきまつりのステージでは、民踊や舞踊、カラオケなどがあり華やかな衣装に身を包んだ出演者が会場を盛り上げていました。

この日参加した、160人ほどの生徒(高齢者)は、お互いに理解と親睦を深めていました。

そのほか、年間を通じて文芸や健康についても学習していることぶき大学では、学級生を募集しています。

**ことぶきまつり開催**  
 芸能発表で親睦深め